

英語科 学習指導案

熊取町立熊取南中学校

授業者 東野 佳奈

ALT Nathan Canright

1. 日時 平成25年7月5日(金)第6時限(14:30~15:20)

2. 場所 熊取町立熊取南中学校 3-2 1階(3年2組 教室)

3. 学校目標 自ら考え自ら学ぶ意欲をもって、心豊かにたくましく生きる生徒の育成
=一人ひとりが輝ける学校づくりをめざして=

4. 学級 3年2組 (男19名、女20名、計39名)

5. (1)生徒観

全体的に落ち着いて学習にとりくめるクラスである。特に女子は学習する姿勢が前向きである。その反面、活発に発言するが、ネガティブな発言をする男子もいる。それぞれの個人作業の課題には積極的にとりくむが、発表の場での自己表現を苦手とする生徒が多い。日々の学習の積み重ねや人との繋がりの中で表現の場を数多く経験することで、苦手意識を克服し自信をもって表現する力をつけることが課題である。

(2)題材観

初めに、広島原爆にまつわる事実を知り、平和について関心を持たせる。そして、本課で出てくる使役動詞(make A + B)、(call A + B)や「It is ~for A to...」構文を使い、世界の人々に向け、大切なことについてのメッセージを書けるようにしたい。

本課では情報を視覚的に伝えることに関心をもち、伝える技法を学び、最終的には班(個人→グループ)で調査したことについて英語で文章を書き、発表できるようにしたい。そして、グループ・ワークを通して相手との円滑なコミュニケーションを目指し、英語でわかりやすくプレゼンテーションできるようにしたい。

(3)指導観

1年時は自己紹介・他己紹介・手作り対話文、2年時で自分史エッセイ・My favorite countryなどで発表する練習を重ねてきた。

今年度は「使える英語プロジェクト事業」3年目の年となり、まとめとして、プレゼンテーション活動を行うが、準備段階で4技能の「読む・書く・聞く・話す」を育む活動を行っ

てきた。自分の考えやグループで調査したことを自作資料として、聞いている人に伝えるように、視覚資料を使って堂々とプレゼンテーションする力を身につけることを目指している。

6. 教材

NEW CROWN 3 (SANSEIDO)

LESSON 4 The story of Sadako

7. 本時の位置づけ

グループでまとめたことを新聞や紙芝居などの工夫した方法で発表する。発表する際は、感情豊かに表現することと、比較的簡単な英語(みんなが知っている言葉)で表現し話すことが目標である。発表後、その内容に関するQ&Aを通して、活発なコミュニケーションをとることが狙いである。聞く際は、ポイントとなる単語を聞きとることや、他のグループの発表の良い点を見つけることが狙いである。

【本課の指導計画】本課を11回に割り振る。

- 第1時 広島原爆にまつわる事実を知る。使役動詞についての基本的な表現をつける。
- 第2時 平和についての関心を持たせる。「It is...for① to~」についての基本的な知識を身につける。
- 第3時 プレゼンテーション活動の説明。題材選択、パート分け、個人読みを行う。(宿題という形でレポートを作成させる。その後、ALTによる添削。)
- 第4時 添削を受けたレポートを班でまとめる。発表方法を定める。
- 第5時 班活動①(レポートのまとめ、分担決め等)
- 第6時 班活動②(紙新聞や紙芝居の作成)
- 第7時 班での最終まとめ、リハーサルを行う。
- 第8時(本時) 「It is for ① to~」の復習とプレゼンテーション活動を行う。
- 第9時 原爆に関することや、被爆者の佐々木貞子さんについて正確に聞きとり、理解する。(②③)
- 第10時 佐々木貞子さんについて理解し、平和の大切さを理解する。(④⑤)

8. 本課の指導目標

- ① 物語を読んで、書かれている内容を読み取ることができる。
- ② ニュースを聞いて、話されている内容を聞き取ることができる。

- ③ 様々な教科書から類似した文を読み、班ごとに問題点や課題などをまとめ、紙新聞や紙芝居を利用しながらプレゼンテーションすることができる。

9. 本時の展開

時間	指導過程	学習活動	指導者の支援	評価の観点・留意点
5分	挨拶	1. 挨拶をする。 2. チャンツを歌う。 3. 今月の言葉を言う。	全員で元気よく声が出せるようにする。	大きな声で楽しく挨拶できているか。 (態度)
5分	導入	・It is...forⓐ to~の復習 カードを見て構文を作る。 ・easy / me / swim ・great / us / study ・fun / him / sing songs ・hard / them / run fast ・good / you / eat lunch ・nice / us / be happy	テンポ良く言えるように、しっかりと声を出して練習できるようにする。必要に応じてヒントを出す。	教師の話していることを聞き、想像することができるか。 (関心・意欲・態度) 与えられた単語を使い、正しい文章を作れているか。 (表現)
35分	展開	1. 各班での最終練習 2. 評価・感想プリントに名前を記入する。 3. 各班によるプレゼンテーション活動 ※発表班 発表が終わる度に、他の班の生徒やALTの先生から発表班に2問程度の質問をし、発表班はその質問について答える。 (友人やALTの先生の英語を注意深く聞く。)	1. 机間巡視 2. プリントの説明をする。 3-1. 元気よく感情豊かに発表させる。 3-2. 注意深く質問を聞いて、自分で考え答えられるようにする。	班で協力できているか。 (意欲・態度) ※発表班 元気よく、発表できているか。 (意欲・態度) 内容を把握できているか。 (知識・理解) ALTの話していることを理解しようとしているか。 (関心・意欲・態度) →発表が終わると、画用紙を黒板に貼らせる。

		※発表班以外 発表を聞きながら、ワークシートに記入させる。 発表後、質問があれば英語で尋ねる。	3-1. 発表者に耳を傾けるように環境を整える。 3-2. 配慮の必要な生徒に目配りする。 3-3. 発表の内容に質問する。 3-4. ワークシートに記入しているかを机間巡視で確認し、個別に指導する。	※発表班以外 発表者の話に関心を持ち聴いているか。(関心・意欲・態度) 積極的に参加しているか。(意欲・態度) 発表の内容を理解できているか。(知識・理解) 真剣にプリントに取り組んでいるか。(知識・理解)
5分	まとめ	1. 各班のIt is...forⓐ to~構文を使い復習する。 2. 家庭学習の内容をノートに書く。 3. 挨拶をする。	1. 本日の内容を再度確認させる。 2. 宿題をメモするように指示する。 3. 全員で元気よく声が出せるようにする。	正しい用法で「It is...forⓐ to~」が使えているか。(表現) 大きな声で楽しく挨拶できているか。(態度)

10. 添付資料

・チャンツプリント ・ワークシート ・座席表

《ご高評価欄》